

マーケティングテクノロジー・AI企業グループ



2026年3月期

通期決算修正に関する補足資料

このたび、先般公表いたしました決算短信につきまして、一部訂正が必要となる事項が判明いたしました。
株主・投資家の皆様をはじめ関係各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

【今回修正した概要】

1. 受託開発取引における売上収益の計上および出資契約における投資有価証券の計上に関する会計処理修正

修正背景	当社取引先(非上場会社)から受注した受託開発取引における売上収益の計上(489百万円)および同社への出資契約による投資有価証券の計上(604百万円)について、会計監査人との協議の過程において、当該取引に係る契約上の適法性の観点で問題はないとの認識を確認したものの、会計処理に関する判断については、経済的実質の観点から当社の当初の判断とは異なる見解が示されたため、財務情報の信頼性を優先する観点から、訂正を行いました
修正概要 2026年3月期	受託開発取引の売上収益・出資契約の投資有価証券の修正 売上収益489百万円、投資有価証券604百万円を修正することとし、修正に伴い生じる差額をその他の資産に振り替え
今後の見通し 2027年3月期	当該取引はその他の資産に一時的に計上していますが、取引先との連携強化、追加的な根拠資料の整備状況を踏まえ、2027年3月期に改めて該当取引に関する収益の実現可能性があり、会計監査人と今後協議していく予定です

2. 外貨建項目の会計処理修正

修正背景	決算発表後、有価証券報告書の作成に向けた詳細な開示資料の検証およびグループ間の科目明細の精査を進める過程において、一部の海外子会社等との取引に関し、外貨建項目の期末換算手続や通貨オプション決済に伴う為替影響の算定など、一部の会計処理等に見直しを要する事項が判明したことから、訂正を行いました
修正概要 2026年3月期	・「その他の収益」として為替差益81百万円を計上するとともに、これに関連する連結精算表上の消去仕訳の修正を行い、営業債権及びその他の債権が80百万円減少、営業債務及びその他の債務が128百万円増加、その他の流動負債が127百万円減少

1. 受託開発取引における売上収益の計上および出資契約における投資有価証券の計上に関する会計処理修正

修正背景・経緯 (2026年3月期)

当社取引先(非上場会社)から受注した受託開発取引における売上収益の計上(489百万円)および同社への出資契約による投資有価証券の計上(604百万円)について、会計監査人との協議の過程において、当該取引に係る契約上の適法性の観点で問題はないとの認識を確認したものの、会計処理に関する判断については、経済的実質の観点から当社の当初の判断とは異なる見解が示されたため、財務情報の信頼性を優先する観点から、訂正を行いました

① 受託開発取引 (売上収益 489百万円)	当社の当初判断	契約は適法に締結・成果物は実在していることを踏まえ、2026年3月期における開発実績工数を集計し、計画工数に対する進捗割合に応じて収益を計上
	会計監査人の見解	受託開発取引に付随する協業の権利義務に関し、当初契約書への反映が不十分。会計処理の前提となる収益認識要件の充足について慎重な判断が必要
② 投資有価証券 (604百万円)	当社の当初判断	取引先の事業計画を基に、一定の株式価値算定手法に基づき算定した評価額をもって計上
	会計監査人の見解	出資の対価として取得する非上場株式の公正価値の算定および投資有価証券としての計上要件の充足状況について、現時点においては、当該公正価値の客観的な確認に向けて、追加資料の確認および関係者間での協議が必要
上記①、②の 会計処理修正内容	売上収益489百万円及び投資有価証券604百万円を修正した上で、売上収益と投資有価証券の差額をその他の資産に振り替え 投資有価証券をその他の資産に振り替える際、取得時の付随費用3百万円は販売費および一般管理費に振り替え	

今後の対応 (2027年3月期)

一時的にその他の資産に振り替えた当該取引について、取引先との連携強化、追加的な根拠資料の整備状況等を踏まえ、2027年3月期に改めて収益の実現可能性があり、会計監査人と引き続き協議予定

修正背景・経緯 (2026年3月期)

決算発表後、有価証券報告書の作成に向けた詳細な開示資料の検証およびグループ間の科目明細の精査を進める過程において、一部の海外子会社等との取引に関し、外貨建項目の期末換算手続や通貨オプション決済に伴う為替影響の算定など、一部の会計処理等に見直しを要する事項が判明したことから、訂正を行いました

会計処理 修正内容

- 「その他の収益」として為替差益81百万円を計上
- これに関連する連結精算表上の消去仕訳等の修正により、「営業債権及びその他の債権」が0百万円減少、「営業債務及びその他の債務」が128百万円増加、「その他の流動負債」が27百万円減少